

研究機関：広島大学

<p>研究課題名 食道手術後患者に対する鎮痛・鎮静プロトコルと身体拘束の関係性の検討</p>
<p>研究責任者名 広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤保夫</p>
<p>研究期間 2019年8月23日(倫理委員会承認後)～ 2022年3月31日</p>
<p>対象者 2016年11月から2017年4月までの6ヶ月間と2018年11月から2019年4月までの6ヶ月間に、当院で食道癌に対し待機的食道手術を施行された患者さん</p>
<p>意義・目的 患者様にとって安寧・安全な医療が提供できるよう、導入した鎮痛・鎮静プロトコルと身体拘束の関係性を明らかにすることで、身体拘束の減少を期待し、この研究を計画しました。</p>
<p>方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、身体拘束の実施率、意思疎通が可能となるまでの時間、RASS・BPSスケール、鎮痛薬・鎮静薬の使用状況等です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
<p>共同研究機関 なし</p>
<p>試料・情報の管理責任者 広島大学大学院 医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤保夫</p>
<p>個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
<p>問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5267 広島大学病院 麻酔科 助教 加藤 貴大 Tel:082-257-1708 広島大学病院看護部 看護師 山福 恵</p>